



『さかなクンの一魚一会 まいにち夢中な人生!』

さかなクン/著・イラスト・題字 講談社

この本は、テレビで大人気のさかなクン初の自叙伝です。さかなクンが最初に夢中になったのは、図鑑の「タコ」…。そこから、お魚好きの男の子になっていきます。勉強が苦手な先生に叱られる事もありましたが、両親や周りの人達の力を心の支えにして、今の“さかなクン”が誕生！さかなクンの人柄が文章から伝わり、読んだ後に温かい気持ちになる一冊です。



ココロふるえる本との出会いで" ^{ハート}♥ フル充電!!

No.2 小学校高学年向き



『10代からの情報キャッチボール入門 使えるメディア・リテラシー』

下村健一/著 岩波書店



学校では教えてくれない「情報の真偽を見きわめ、読み解き、活用する力」をメディア・リテラシーといいます。でもそれって、自己流で大丈夫？この本は、TVキャスターとして情報に接してきた著者が、情報を受け取る時に必要な「4つのギモン」と、発信する時に必要な「4つのジモン」を教えてくださいます。情報に振り回されず、使いこなせる人になろう！



『ふたりユースケ』

三田村信行/作、大沢幸子/絵 理論社



やんちゃな小学生小川ユースケは、転校初日から有名人になりました。一年前にその町で死んだ、神童の大川ユースケと瓜二つだったからです。町の皆はユースケの生まれ変わりだと騒ぎ、町の有力者や両親によって、小川ユースケの「大川ユースケ化計画」が実施されます。果たして、計画は成功するのでしょうか？そして大川ユースケの死の真相とは？



『レイン 雨を抱きしめて』
アン・M. マーティン/作、西本かおる/訳 小峰書店

ローズは同音異義語とルール、素数が好きなアスペルガー症候群の女の子。家族はパパと、犬の“レイン”。家でのローズは、レインとずっと一緒です。ところが、ハリケーンの朝にレインが行方不明になってしまいます。ローズはレインを見つけるために、ある作戦を実行しますが…。ローズの優しさと勇気に、元気をもらえます。



『お面屋たまよし 5』
石川宏千花/著、平沢下戸/画 講談社

妖面とは、なりたい姿になれる面。面作師見習いの太良と甘楽は、その面を売って旅をしています。荒魂化した人を浄化する役目を負った2人は、人の心の奥に潜む醜さを痛切につきつけられながらもたくましく生き、その姿を見守りたくなるお話です。シリーズ5作目の今作は、2人の育ての親でもある仁王次の若い頃の話もありこまれています。



『あやしの保健室 1 あなたの心、くださいまし』
染谷果子/作、HIZGI/絵 小峰書店

養護教諭の妖乃先生は、待ち受けていたかのように、悩みを抱えてやってきた子ども達を優しく迎えてくれます。特製アイテムの抗ネタミンシロップやチムニートローチなどは、効き目はあるけど、怪しいものばかり。先生は、どうやら普通の人ではないようです。先生の秘密を探りたい人は、あやしの保健室に「おいでなさいまし」！



『300年まえから伝わる
とびきりおいしいデザート』
エミリー・ジェンキンス/文、ソフィー・ブラッコール/絵、横山和江/訳 あすなる書房

昔から変わらないおいしいデザート、ブラックベリー・フル。材料は泡立てたクリームに、ブラックベリー！ けれども、材料の入手方法や調理器具、誰が作って誰が食べるのかなど、変わったこともたくさんあります。300年前、200年前、100年前と現在を見比べてみると、どんな違いが見つかるのでしょうか。いつの時代も変わらない「お楽しみ」と一緒に、探してみては？



『十一月のマーブル』
戸森しるこ/著 講談社

小学六年生の波楽が、ある日見つけた実の母親の七回忌のハガキ。心にしまっていた「秘密」を確かめたくて、波楽は親友のレンとともに差出人の凧さんに会いに行きます。家族のきずなや友情のカタチに迷いながらも、凧さんとの不思議な交流を通じて自分の心を探していく波楽がたどり着いた答えとは？少年が未来へ向かう力をくれる物語です。